

DX推進基本方針

2026年6月



社長メッセージ

創業50年、次の50年へ

当社は創業 50 年の節目に「ビジョン 2030」を掲げました。激甚化する自然災害やインフラの老朽化、深刻化する担い手不足といった社会課題に対し、建設コンサルタントが果たすべき役割はますます重要になっています。こうした社会課題を乗り越え、次の 50 年を見据えた「100 年企業」へと進化していくうえで、成長と変革の中核的な原動力となるのがデジタルトランスフォーメーション（DX）です。

私たちの企業理念は、「総合技術サービスを通して社会の発展に貢献し、社員の幸せを追求する」ことです。この理念を、急速に変化する時代において具現化するため、当社は「DX 推進の 3 本の柱」を掲げ、全社を挙げて取り組みます。

1. 技術とデジタルの融合による価値向上
2. 人が主役の変革
3. 共創型ネットワークによる持続的成長

当社は、デジタル技術と専門技術の融合により地域・社会の持続的な発展にこれまで以上に貢献するとともに、社員一人ひとりが「やりたいことができ、なりたい自分になれる」自律的なキャリア形成を追求し、社内外の共創関係を活かして「選ばれ続ける総合技術サービス企業」として力強く成長してまいります。

株式会社日本海コンサルタント
代表取締役社長 黒木 康生

技術で未来を共創する。

Next Co-Design

重点戦略

当社は、次の50年に向けた第一歩として、「技術の深化と挑戦」と「組織基盤の強化」に向けた取組を重点的に進めます。

1 競争力強化に向けた 技術の深化と挑戦

- 1-1 新たな事業領域への挑戦
- 1-2 技術力のさらなる深化と拡大
- 1-3 デジタル革新による推進力の強化

2 持続的な成長を支える 組織基盤の強化

- 2-1 一人ひとりの成長・挑戦を促進
- 2-2 技術や知識の継承
- 2-3 多様な人財の確保、組織力の強化



DXビジョン

培ってきた専門技術と先端デジタル技術の融合により、 社会課題の解決に貢献する

私たちは、これまでに培った技術を財産として、データやデジタル技術の活用により、いままで以上に質の高いサービスを創出・提供するために一層の挑戦と研鑽に取り組み、地域の持続的な発展と社会課題の解決に力強く貢献します。

これを実現するために、**DX推進の3本の柱**を据え、着実に前進します。



DX推進の3本の柱

1. 技術とデジタルの融合による価値向上

技術力

■ 新たなサービスの創出

■ ナレッジの共有と継承を支える仕組みの構築

2. 人が主役の変革

人材力

■ 創造的時間の創出

■ デジタル活用環境の構築

3. 共創型ネットワークによる持続的成長

共創力

■ 技術知見とサービスの継続的な刷新

■ 社内外連携の深化

▶取組項目

当社は、ビジョン2030で定めた重点戦略を推進するため、以下のDX戦略に取り組みます。

新たなサービスの創出

重点戦略1-1

培ってきた技術を、生成AIやPLATEAU等のオープンデータ、BIM/CIM、3次元測量技術等と戦略的に融合。企業ナレッジを新たなソリューションとして提供するサービスを創出し、地域社会の発展に貢献する。

ナレッジの共有と継承を支える仕組みの構築

重点戦略2-2

企業内検索エンジンやRAGシステム等の活用による社内ナレッジのデータベース化。培ったナレッジを最大限に活用できる仕組みを構築し、地域課題の解決策を的確かつ迅速に提供する。

創造的時間の創出

重点戦略1-3

RPA、ノーコード・ローコード、BI等のITツールを導入し、既存社内システムと連携。業務プロセスの生産性向上により創出した時間を、コミュニケーションや技術革新といった創造的な挑戦に充てる。

デジタル活用環境の構築

重点戦略2-1

コミュニケーションツールの導入、デジタルリテラシー・スキル向上支援、クラウドサービスやフロア環境の整備。社員一人ひとりのデジタル時代への適合を支援し、自律的なキャリア成長を後押しする。

技術知見とサービスの継続的な刷新

重点戦略1-2

デジタル技術の利活用に関する他社との情報交換、社内での情報発信やニーズ収集を継続的に実施。市場変化や地域課題に対する顧客ニーズを先読みし、既存サービスの品質・付加価値向上を常に追求する。

社内外連携の深化

重点戦略2-3

CRMツールの活用と社員の活動が見える社内プラットフォームの整備。社員、顧客、パートナー企業の信頼に基づく共創関係を醸成し、新たなビジネスチャンスを創出する。

▶DX戦略の達成度を測る指標

DX 戦略	評価指標
新たなサービスの創出	デジタル技術を活用した業務の件数
ナレッジの共有と継承を支える仕組みの構築	RAG システム導入による業務効率改善件数
創造的時間の創出	IT ツールにより効率化したプロセスの件数
デジタル活用環境の構築	デジタルリテラシーとスキル向上を図る研修の実施回数
技術知見とサービスの継続的な刷新	他社又は社内での DX に関する勉強会の実施回数
社内外連携の深化	CRM ツールの利用実績

▶DX推進室の役割

DX推進室は、各部署からの兼任メンバーで構成され、会社全体のデジタル変革を推進する部門で、最新のデジタル技術の動向と社内を繋ぐ橋渡しとなるとともに、組織横断的な連携を強化しながら全社的なデジタル文化の醸成を推進しています。

【主な役割】

- ・ デジタル技術に関する動向・情報の収集、導入・開発の検討
- ・ 社内課題・ニーズの把握、デジタル技術に関する社内情報発信・活用支援、研修・勉強会・交流の企画
- ・ 社内デジタル関連部署、各役職会などの社内組織との連携（役割分担、意見交換） など

なお、DX推進に伴うサイバーセキュリティ対策については、別途定める「情報セキュリティ基本方針」に基づき、経営主導で堅牢な情報基盤の構築とリスク管理を徹底しています。